

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書 (単位:千円)

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街						
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実						
施策の基本方針	札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、個性や能力を発揮し、心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めるため、自ら考える力や思いやりと豊かな心をはぐくむ取り組みを実施します。また、子どもの相談体制の強化や学びの意欲を育てるなど、のびのびと成長・発達していける教育環境の充実を、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携して推進します。							
	計 画 事 業 の 実 施 状 況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				合計	進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(予算)	21年度(予算)	22年度(予算)		
1	さっぽろ学校給食フードサイクル		83	9,370			9,453	-
1	信頼される学校の創造事業		37,764	42,892			80,656	-
1	生きいきと学ぶ力の育成事業		6,827	6,781			13,608	-
1	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	126,000	0	17,250			17,250	13.7
1	家庭教育事業		15,812	15,826			31,638	-
1	学校図書館地域開放事業	18,000	1,063	3,348			4,411	24.5
1	学校・地域連携事業		2,175	2,508			4,683	-
1	札幌市立大学大学院設置支援事業		0	96,000			96,000	-
1	(仮称)市立認定こども園整備事業[再掲]	533,000	86,313	462,100			548,413	102.9
1	札幌市奨学金の拡充	77,000	0	14,583			14,583	18.9
1	幼児教育の振興を図る新たなしくみの構築		6,677	19,824			26,501	-
1	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置	2,670,000	145,219	3,400			148,619	5.6
1	特色ある市立高校づくり	40,000	11,139	10,002			21,141	52.9
2	児童家庭支援センター体制整備	57,000	0	2,000			2,000	3.5
2	いじめ・不登校対策の推進事業	352,000	24,048	79,124			103,172	29.3
2	児童クラブなどにおける障がいのある子どもの対応の充実	78,000	22,127	18,200			40,327	51.7
2	特別支援学級の整備	124,000	32,242	29,822			62,064	50.1
2	特別支援教育の推進体制の充実	1,119,000	44,006	95,387			139,393	12.5
2	豊明高等養護学校における教育の充実	271,000	1,833	289,800			291,633	107.6
2	地域小規模児童養護施設の整備	21,000	0	0			0	-
3	アジア学生交流事業	3,000	0	800			800	26.7
3	わたしたちの児童会館づくり事業	4,000	1,001	1,000			2,001	50
3	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	15,000	3,933	3,339			7,272	48.5
3	こどものまち「ミニさっぽろ」事業	18,000	4,150	6,000			10,150	56.4
3	子どもの美術体験事業	4,000	0	2,000			2,000	50
3	子どもの映像制作体験事業	5,000	0	1,000			1,000	20
3	佐藤忠良関連施設整備事業	358,000	110,738	236,200			346,938	96.9
3	Kitaraファーストコンサート事業	115,000	28,761	28,761			57,522	50
3	子どもの自然体験活動事業		18,823	17,362			36,185	-
3	青少年科学館展示物整備事業	40,000	39,900	0			39,900	99.8
3	児童会館における中・高校生の利用促進	183,000	11,629	34,745			46,374	25.3
3	ミニ児童会館の新設	645,000	123,465	96,000			219,465	34
3	放課後子どもプランの推進		0	12,849			12,849	-
3	子どもの権利の推進	134,000	10,664	21,400			32,064	23.9
合 計 (計画事業費が「-」の事業は除く)		7,010,000	702,231	1,456,261			2,158,492	30.8

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街					
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	リサイクル堆肥を使用して栽培した作物の提供校数	2校	272校	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校 (305校)	全小中学校
1	教職員以外からの学校評価を実施している小中学校の割合	75%	90%	95%	98%	100%	100%
1	中学校における職場体験の実施校率	51%	68.4%	75%	90%	100%	100%
1	ALT配置人数	43人	43人	48人	53人	58人	58人
1	家庭教育学級数	206学級	210学級	208学級	210学級	214学級	214学級
1	学校図書館地域開放校数(小・中学校)	87校	90校	93校	96校	99校	99校
1	(学校・地域連携)事業実施校数	40校	45校	50校	55校	60校	60校
1	(札幌市立大学)大学院設置	-	-	検討	着手	設置	設置
1	(札幌市立大学)民間企業等からの受託研究数の増	-	-	-	-	15件	15件
1	(仮称)市立認定こども園の開園	-	準備	準備	開園	運営	開園 (21年度)
1	奨学金支給対象数	456人	463人	641人	821人	1,001人	1,000人
1	(仮称)札幌市幼児教育センター[正式名称:札幌市幼児教育センター]の開設	-	設置	開設			開設 (20年度)
1	市立札幌大通高等学校の開設	-	準備	開設			開設 (20年度)
1	(特色ある市立高校)新たに導入した学科やコースなどの制度数(累計)	5制度	5制度	5制度	5制度	8制度	8制度
2	児童家庭支援センター設置数(累計)	2カ所	2カ所	2カ所	3カ所	4カ所	4カ所 (21年度)
2	(いじめ・不登校対策)小学校の相談時間数	-	月2時間	月4時間	月4時間	月4時間	月4時間 (20年度)
2	(いじめ・不登校対策)中学校の相談時間数	週6時間	週6時間	週8時間	週8時間	週8時間	週8時間 (20年度)
2	障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成額の充実(障害のある児童の登録数)	2人以上	1人以上	1人以上	1人以上	1人以上	1人以上 (19年度)
2	特別支援学級設置率	43%	49%	54%	58%	61%	55%
2	特別支援教育巡回相談員配置数	3人	10人	10人	10人	10人	10人 (19年度)
2	特別支援教育支援員活用体制の構築	-	-	構築	整備・拡大	整備・拡大	構築 (20年度)
2	豊明高等養護学校の間口数	18間口	18間口	19間口	20間口	21間口	21間口
2	地域小規模児童養護施設設置数	-	-	-	-	1カ所	1カ所
3	(アジア学生交流)市民交流事業等参加者数	-	-	500人	500人	500人	500人
3	(わたしたちの児童会館)子ども運営委員会設置数(累計)	12館	60館	全館(155館)	全館	全館	児童会館、ミニ児童会館全館
3	(さっぽろ夢大陸「大志塾」)参加人数	186人	167人	200人	200人	200人	200人
3	(こどものまち「ミニさっぽろ」)参加人数	3,440人	4,428人	3,000人	4,000人	5,000人	5,000人
3	(子どもの美術体験)参加児童数(累計)	-	-	1,220人	2,300人	3,200人	3,200人
3	(子どもの映像制作体験)参加者数(累計)	-	-	15人	15人	20人	50人
3	(佐藤忠良関連施設)施設開設	-	解体・設計・ 作品選定	開設			開設 (20年度)
3	(Kitaraファーストコンサート)学校の参加率	94.2%	92.3%	94.2%	94.6%	95.0%	95.0%以上

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街					
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
3	林間学校参加者の親から見た子どもたちの成長度合い(5点満点)	3.58	未実施	3.80	3.90	4.00	4.00
3	(青少年科学館)入場者数	292,854人	346,097人	352,000人	352,000人	352,000人	352,000人
3	(児童会館の中・高校生)夜間利用実施館数	20館	40館	60館	80館	104館	104館
3	ミニ児童会館数	40館	51館	57館	64館	70館	70館
3	放課後子どもプラン事業計画の策定	-	検討	策定	事業推進	事業推進	策定 (19年度)
3	子どもの権利条例の制定	-	準備	制定	推進	推進	制定 (20年度)

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街				
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実				
主な取組内容						
19年度(実績)		20年度(予定)				
<b>施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進</b>						
<p>重点校(5校)において学校教育活動全体でフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進 義務教育の質の保証に資する学校評価システム構築事業実施 札幌市教育研究推進事業、学校研究委託事業を実施 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。19年度新規開設3校(ほか開設校計87校) 学校・地域連携事業の実施(303回・48,188人参加) 「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」を策定 市立札幌大通高校PFI事業者選定、暫定校舎改修工事実施 「札幌市における中高一貫教育のこれまでの検討について」をとりまとめて公表し、市民意見の募集を実施 札幌市奨学金拡充に関する計画立案</p>		<p>重点校(7校)において学校教育活動全体でフードリサイクルに取組み実践活動を通して食育・環境教育を推進 学校評価の充実・改善のための実践研究を実施 札幌市教育研究推進事業、学校研究委託事業を実施 外国語指導助手(ALT)48名配置(19年度より5名増員) 子どもや地域住民の読書活動を盛んにすること等を目的に学校図書館を地域に開放。20年度新規開設3校予定(ほか開設校計90校) 学校・地域連携事業の実施(20年度新規実施5校予定) 奨学金採用人数を180人程度増やす。また、「定時制高等学校の生徒」と「障がいのある生徒・学生」という新たな採用枠を設ける。 「札幌市幼児教育センター」の開設 市立札幌大通高校開設、新校舎建築工事实施 市立高校合同説明会、中高一貫教育検討協議会の開催</p>				
<b>施策2 健やかな育ちの推進</b>						
<p>スクールカウンセラーを学校に配置し、いじめ・不登校等、生徒指導上の課題に対応していくための教育相談体制の充実を図る。スクールカウンセラーを全ての小学校に派遣、スーパーバイザーの増員を実施 児童クラブ等における障がいのある子どもがいる場合の指導員配置や助成について、障がいのある児童数が2名以上であるものを1名以上へ充実 特別支援学級の開設(小学校27校29学級、中学校3校3学級)、簡易整備への追加整備(中学校2校) 特別支援教育巡回相談員を3名から10名に増員。特別支援教育研究モデル事業における地域ボランティアに係るモデル事業、北翔・豊成看護師配置モデル事業等の実施</p>		<p>夜間、休日等における児童虐待通告への初期調査業務を既存の児童家庭支援センター2か所に業務委託し実施。 スクールカウンセラーによる小学校、中学校における相談時間を増やすなどさらなる充実を図る。 児童クラブ等において、障がいのある児童の登録数が1名以上の場合に指導員配置や助成を実施 特別支援学級の開設(小学校17校21学級、中学校7校8学級) 特別支援教育巡回相談員配置モデル事業、特別支援教育支援員活用事業(学びのサポーター活用事業)、北翔・豊成看護学校看護師配置モデル事業等の実施</p>				
<b>施策3 自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり</b>						
<p>児童会館等の子ども運営委員会を新たに48館設置。北郷児童会館改築に際し子ども検討委員会を設置 体験活動事業「大志塾」を実施し、小学生167人が参加 職業・市民体験事業「ミニさっぽろ」を実施。小学3、4年生延べ4,428人参加 佐藤忠良関連施設整備のための実施設計及び作品購入 Kitaraファーストコンサート実施。205校15,162人児童参加 林間学校等に1,872人の児童生徒が参加 青少年科学館の力学系展示物を更新 児童会館の中・高校生夜間利用を、20館増の40館で実施 ミニ児童会館について、余裕教室等を活用し4館、学校施設方式児童育成会からの転換により7館を整備 「札幌市放課後子どもプラン(案)」パブリックコメントを実施(仮称)子どもの権利条例素案を策定しパブリックコメントを実施</p>		<p>「21世紀東アジア青少年交流計画」に併せ、交流事業実施 児童会館・ミニ児童会館全館に、子ども運営委員会を設置 体験活動事業「大志塾」を8回に渡り実施。200人参加予定 小学3、4年生対象の職業・市民体験事業を2日間実施 小学5年生1,000人を芸術の森へ招待 芸術の森で中学生対象の映画制作ワークショップ等を実施 佐藤忠良関連施設のオープン Kitaraファーストコンサートを、延べ5日間10回実施 林間学校、アタックキャンプ、野外活動指導員研修を実施 青少年科学館の中長期的なあり方の検討の実施 児童会館の中・高校生夜間利用を、20館増の60館で実施 小学校の余裕教室等活用のミニ児童会館6館を新規整備 「札幌市放課後子どもプラン」策定及び同プランの推進 子どもの権利条例の制定及び救済機関の設置準備等</p>				
主な施設、サービスの整備水準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
外国語指導助手	43人	43人	48人	53人	58人	58人
学校図書館地域開放	87校	90校	93校	96校	99校	99校
奨学金(高校・大学生)	456人	463人	641人	821人	1,001人	1,000人
児童家庭支援センター事業	2カ所	2カ所	2カ所	3カ所	4カ所	4カ所
スクールカウンセラー	小学: - 中学: 週6時間	小学: 月2時間 中学: 週6時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間	小学: 月4時間 中学: 週8時間
児童クラブなどの障がい児受入	2人以上で指導員加配、助成	1人以上で指導員加配、助成	1人以上で指導員加配、助成	1人以上で指導員加配、助成	1人以上で指導員加配、助成	1人以上で指導員加配、助成
特別支援教育巡回相談員	3人	10人	10人	10人	10人	10人
地域小規模児童養護施設	-	-	-	-	1カ所	1カ所
児童会館の中・高校生の利用促進	20館	40館	60館	80館	104館	104館
ミニ児童会館	40館	51館	57館	64館	70館	70館

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実
評価(成果)		課題
<b>施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進</b>		
<p>学校給食フードリサイクル重点校では、様々な体験活動に取り組んだ結果、児童生徒に、ものを大切に作る心が育まれ、給食の食べ残しも減少するなど、成果が上がっている。</p> <p>地域人材の活用により、子ども達の興味・関心を高める授業が行われた。また、学校研究委託事業を通し、各学校が信頼される学校の創造に係る課題について様々な実践研究に取り組み、学校教育の充実と発展に寄与した。</p> <p>学校図書館地域開放事業、学校・地域連携事業については学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし協力して進めており、明日を担う子どもたちの成長・発達に寄与している。</p> <p>幼児教育の水準向上を図るため、具体的取組を示した「札幌市の幼児教育振興を図る新たなしくみづくり」を策定した。</p>		<p>学校評価や学校運営に係る、各学校での実践を通したさらなる創意工夫が必要。</p> <p>外国語指導助手について、民間業務委託(Non-JETALT)導入の効果検証を継続して行い、委託形態や入札方法等についてさらに検討を進める必要がある。</p> <p>学校・地域連携事業による様々な活動を通じて、学校と地域の連携が深まることにより、地域住民にとって学校が身近なものとなり、地域教育力の向上が見られるが、運営が学校中心になりがちであり、学校側の負担に配慮する必要がある。</p> <p>札幌市奨学金については、市長マニフェストで2010年度までに支給対象の倍増が政策項目となっており、20年度補充採用から段階的拡大を図る。</p> <p>私立幼稚園との緊密な連携体制を整備する。また、市立幼稚園7園の閉園に合わせて、新たなしくみを構築する体制を整備する。</p>
<b>施策2 健やかな育ちの推進</b>		
<p>児童家庭支援センターについて、より身近な地域に24時間体制で電話相談を受け付ける体制を整備することで、複雑多様化する児童問題に関する悩み適切に対応し、市民の子育て不安の解消を図ることができている。</p> <p>各学校における、スクールカウンセラーの相談件数も増えており、特に、中学生や高校生とその保護者に広く理解され、不登校以外の相談も多くなり多岐にわたっている。</p> <p>特別支援学級未設置校への開設を行ったことにより、児童生徒が区域外の特別支援学級に通学しなければならないことによる負担が軽減されるとともに、同じ地域の子どもたちとの交流の機会が多くなり、地域社会との結びつきが強くなる。</p> <p>特別支援教育巡回相談員を3名から10名に増員。全市の小中学校を対象としたことにより、学校支援体制を充実させた。</p>		<p>増加する一方の相談件数に対応するためには、児童家庭支援センターをさらに2か所増設することが必要である。</p> <p>スクールカウンセラーが、全ての小、中、高に配置されたことから、年齢や経験年数等、様々なスクールカウンセラーを任用している状況にあり、スクールカウンセラーの質の向上が課題である。</p> <p>特別支援学級未設置校への新設要望が増加しており、簡易な整備の導入による経費の削減を図っても、予算上の制約から、特別支援学級新設の要望に応ずることが困難。</p> <p>特別支援教育巡回相談員は心理分野の一定程度の専門性を有するが、その統括のためには、教育分野及び心理分野において、より高度な専門性を有する指導主事及び精神科療士(セラピスト)の配置が必要である。</p>
<b>施策3 自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり</b>		
<p>子どもが、普段の生活ではできない社会体験や野外体験等の機会を提供することを通して、創造性や自主性、社会の一員としての自覚や責任感などをはぐくみ、文化や芸術等に対する理解を促進することができた。</p> <p>ミニ児童会館の整備や児童会館における中・高校生の夜間利用拡大等により、安全で安心できる放課後の居場所づくりを進めることができた。児童会館の事業・運営への子ども参加を通し、子ども自身が一層責任感や主体性を持って活動できる児童会館が実現できた。さらに、ボランティア活動の広がりや地域住民と児童会館とのかかわりの強化等の効果も現れている。</p> <p>子どもの権利の理念や条例制定の目的等について理解促進が進められた。また、条例素案を策定し、パブリックコメントを実施した。</p>		<p>参加対象の拡大や身近での体験機会の創出など、体制整備や事業形態の開拓等の工夫が求められる。また、子どもの意見を実現に結びつけることや、より魅力的で質の高い体験機会を提供するために、事業の企画立案や手法についての検討を進める必要があるほか、民間企業の協力等によるコスト削減など、効率的な事業実施についての検討が必要。</p> <p>放課後の居場所の確保のため、ミニ児童会館の整備や中・高校生による夜間利用の拡大を引き続き進めるほか、新たな手法も含め、より柔軟な対応を検討していく必要がある。また、学校や地域、保護者との連携を一層強化しながら、事業内容の充実に努めていく。</p> <p>子どもの権利について、市民が正しく理解するための広報・普及を引き続き積極的に行う。また、子どもの権利侵害からの救済機関の設置・運営に向け取組を進める。</p>
<b>今後の重点取組</b>		
<p>外国語指導助手配置について、平成23年度完全実施の小学校新学習指導要領では、小学校5.6年生において、各学年35時間「外国語活動」を行うことが明記されており、来年度からの移行措置期間において、各学校での裁量により先行実施が可能となっているが、現行の中・高に配置されている外国語指導助手を小学校へ派遣する方法では数が限られることから、外国語指導助手の小学校への配置について検討を進める必要がある。</p> <p>札幌市奨学金について、「既存の奨学金基金とは別の基金を新たに設置し、既存の奨学金基金で採用されなかった学生等にも奨学金を支給できるようにしたい」という趣旨で、個人篤志家からの寄付により、新たな基金を設置したところであり、この運用収入の範囲で拡大して採用できることから、目標値である1000人より多く奨学生の採用ができる見込みだが、新基金運用収入による奨学生の採用拡大大部分は、当該事業の拡充には含めず、当初の計画通り採用を進めていく。</p> <p>特別支援教育巡回相談員配置モデル事業について、より専門的見地からの学校支援体制の構築を目指すとともに、特別支援教育支援員活用事業(学びのサポーター活用事業)について、その拡充に向け、関係機関との連携を図るなど、特別支援教育の推進体制の充実を図る。</p> <p>いじめ・不登校対策の推進について、スクールカウンセラーの質の向上やいじめの根絶、不登校の改善に向けた効果的なスクールカウンセラーの活用について検討していく。</p> <p>「札幌市放課後子どもプラン」の策定後、同プランに基づき、地域の実情に応じた柔軟な対応を行いながら、将来的にはすべての小学校区で放課後の居場所を確保することを目標に取り組んでいく。</p> <p>「子どもの権利条例」に基づき、子どもを権利侵害から適切な救済を図るための新たな機関の設置のほか、「子どもの権利委員会」の設置や推進計画の策定などを通して、市民及び市が一体となった、子どもの権利保障の取組を進めていく。</p>		

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	1	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街																																	
重点課題	2	未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実																																	
成果指標等の動向																																			
項目1	家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合(単位:%)	項目2	地域への授業公開校の割合(小・中学校)(単位:%)																																
<table border="1"> <caption>項目1: 家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>51.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>51.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18	51.5			H19		51.5		H22			100	<table border="1"> <caption>項目2: 地域への授業公開校の割合(小・中学校)(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>75.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>77.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18	75.1			H19		77.7		H22			100
年度	現状値	実績	目標値																																
H18	51.5																																		
H19		51.5																																	
H22			100																																
年度	現状値	実績	目標値																																
H18	75.1																																		
H19		77.7																																	
H22			100																																
項目3	小・中学校における地域人材の活用人数(単位:人)	項目4	不登校児童・生徒の出現率(単位:%)																																
<table border="1"> <caption>項目3: 小・中学校における地域人材の活用人数(単位:人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>10,259</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>10,660</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18	10,259			H19		10,660		H22			12,000	<table border="1"> <caption>項目4: 不登校児童・生徒の出現率(単位:%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>1.09</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>1.16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td>1.0未満</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18	1.09			H19		1.16		H22			1.0未満
年度	現状値	実績	目標値																																
H18	10,259																																		
H19		10,660																																	
H22			12,000																																
年度	現状値	実績	目標値																																
H18	1.09																																		
H19		1.16																																	
H22			1.0未満																																
項目5	児童会館で行われている事業の参加者数(単位:万人)	項目6																																	
<table border="1"> <caption>項目5: 児童会館で行われている事業の参加者数(単位:万人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td>45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18	41			H19		45		H22			47	<table border="1"> <caption>項目6: No data shown</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	実績	目標値	H18				H19				H22			
年度	現状値	実績	目標値																																
H18	41																																		
H19		45																																	
H22			47																																
年度	現状値	実績	目標値																																
H18																																			
H19																																			
H22																																			
成果指標等から見た重点課題の評価																																			
<p>この重点課題においては、「札幌の明日を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、個性や能力を発揮し、心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めるため、自ら考える力や思いやりと豊かな心をはぐくむ取り組みを実施すること。子どもの相談体制の強化や学びの意欲を育てるなど、のびのびと成長・発達していける教育環境の充実を、学校、家庭、地域社会がそれぞれの役割を果たしながら連携して推進すること。」を施策の基本方針に掲げ、その方針に沿った成果指標を設定している。</p> <p>これらの成果指標について、平成22年度の目標値を100%とするなど、高い目標を設定していることもあり、これらの成果指標の数値のみをもって、当重点課題全体の評価を行うことは難しいが、各事業については着実な取り組みが行われており、各々課題はあるものの、全体としては順調に推移している。</p>																																			